

事務連絡
令和7年3月7日

一般社団法人 日本医療法人協会 御中

厚生労働省医薬局総務課

電子処方箋患者向け普及啓発資材の作成について（周知依頼）

標記について、都道府県衛生主管部（局）及び民生主幹部（局）宛て、写しのとおり事務連絡を発出しましたので、患者への電子処方箋の周りに活用いただけるよう、関係者へ情報提供いただけますようお願いいたします。



事務連絡
令和7年3月7日

都道府県衛生主管部（局）
医務主管課（部）
薬務主管課（部）
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）
後期高齢者医療主管課（部）

御中

厚生労働省医薬局総務課

電子処方箋患者向け普及啓発資材の作成について（周知依頼）

日頃から厚生労働行政に対して御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、電子処方箋の周知広報の一環として、TVアニメ『薬屋のひとりごと』とタイアップした普及啓発リーフレット、動画、デジタルサイネージ等を別添のとおり作成いたしました。

医療機関・薬局において、患者への電子処方箋の周知に活用いただけるよう、管下の医療機関・薬局へご案内をお願いいたします。

記

1. 利用方法

医療機関等向け総合ポータルサイトからダウンロードしてご利用ください。

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sys_kb_id=f7feaf228344a2146eed0198beaad389

※医療機関等向け総合ポータルサイトへのログインが必要です。

※ダウンロードしたものを転売や商用利用等を行わないでください。

2. 利用期間

令和7年3月6日（木）～令和7年6月30日（月）

〇リーフレット（医療機関向け）

表



裏

医療機関用

電子処方箋とは、紙の処方箋を電子化したものです。訪れた医療機関・薬局が電子処方箋を発行できる医療機関、調剤できる薬局と、患者さんにとって「どのようなメリットがあるのか」「いつもの診察と何が違うのか」をお伝えします。

患者さんにとって安心です

お薬に関する色々な事がカンタン・ラクラクに

- 患者さんが提供に同意すると、医師・歯科医師・薬剤師は、患者さんが、最近服用した薬をデータで正確に確認できるようになります。
- 患者さんが今服用している薬と飲み合わせの悪い薬や、同じ効能・効果の薬の飲み過ぎを防止しやすくなります。
- 処方箋が電子化されるので、処方箋をなくす心配がありません。
- 処方箋が電子化されるので、オンライン服薬指導も受けやすくなります。(オンライン服薬指導を受ける際は、マイナ在宅受付ウェブを活用いただくか、薬局に電子処方箋の「引換番号」をお伝えください)

診察の受け方

- 1 患者さんは、マイナ保険証や有効期限内の健康保険証 / 特任診察で医療機関を受診します。
電子処方箋を希望することを伝える。
- 2 患者さんは、通常どおり診察を受けます。
- 3 医師・歯科医師が、処方箋を電子で発行します。
- 4 患者さんは、通常どおり会計をします。
電子処方箋の場合は、処方箋ではなく、処方内容（控え）を受け取ります。
電子処方箋に対応した薬局へ行きます。

※処方箋の「引換番号」は、処方箋の控えに記載されています。処方箋の控えは、処方箋の控えとして、調剤の際に提出する必要があります。処方箋の控えは、処方箋の控えとして、調剤の際に提出する必要があります。

よくある誤解 **電子処方箋は、薬局に自動で送られません。**

- 薬局で調剤の際に開始するのは、患者さんが薬局で調剤付きカードリーダーで「電子処方箋」を読み、または有効期限内の健康保険証 / 資格確認番号と引換番号（処方箋控え）に記載されている番号を「読み」し始めるからです。
- 診察後、（引換番号）「処方箋控え番号」などを、薬局に、電話、FAX、アプリなど任意の方法でお伝えと、患者さんが薬局に行く前に薬剤師が調剤を開始できるので、薬局での待ち時間が短縮できることがあります。

※ 転写や誤用利用等を行わないでください。

〇リーフレット（薬局向け）

表



裏

薬局用

電子処方箋とは、紙の処方箋を電子化したものです。訪れた医療機関・薬局が電子処方箋を発行できる医療機関、調剤できる薬局と、患者さんにとって「どのようなメリットがあるのか」「いつもの診察と何が違うのか」をお伝えします。

患者さんにとって安心です

お薬に関する色々な事がカンタン・ラクラクに

- 患者さんが提供に同意すると、医師・歯科医師・薬剤師は、患者さんが、最近服用した薬をデータで正確に確認できるようになります。
- 患者さんが今服用している薬と飲み合わせの悪い薬や、同じ効能・効果の薬の飲み過ぎを防止しやすくなります。
- 処方箋が電子化されるので、処方箋をなくす心配がありません。
- 処方箋が電子化されるので、オンライン服薬指導も受けやすくなります。(オンライン服薬指導を受ける際は、マイナ在宅受付ウェブを活用いただくか、薬局に電子処方箋の「引換番号」をお伝えください)

調剤の受け方

- 1 患者さんは、マイナ受付で、薬局で調剤を受ける処方箋として「電子処方箋」を選択するか、有効期限内の健康保険証 / 資格確認番号と引換番号を薬局の窓口に出します。
- 2 薬局が、患者さんの電子処方箋を電子処方箋管理サービスから取り出します。
- 3 患者さんは、通常どおり、薬剤師から服薬指導を受けます。
- 4 患者さんは、通常どおり会計をし、薬を受け取ります。

よくある誤解 **電子処方箋は、薬局に自動で送られません。**

- 薬局で調剤の際に開始するのは、患者さんが薬局で調剤付きカードリーダーで「電子処方箋」を読み、または有効期限内の健康保険証 / 資格確認番号と引換番号（処方箋控え）に記載されている番号を「読み」し始めるからです。
- 診察後、（引換番号）「処方箋控え番号」などを、薬局に、電話、FAX、アプリなど任意の方法でお伝えと、患者さんが薬局に行く前に薬剤師が調剤を開始できるので、薬局での待ち時間が短縮できることがあります。

※ 転写や誤用利用等を行わないでください。

○リーフレット設置の目印となるポップ



○動画 ※デジタルサイネージ有

